

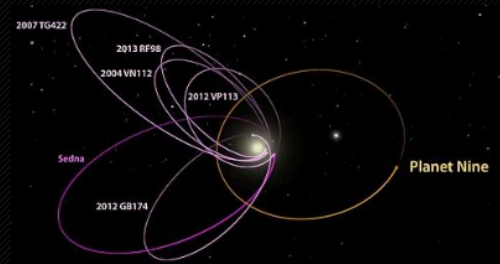
第9番惑星（2016年1月話題） ※ 米カリフォルニア工科大の研究チーム発表（計算推定）

発見間近の太陽系第9惑星もカイパーベルト天体？

2016年初頭。大きな話題となった「太陽系第9惑星発見か？」のニュース。

既に発見されているカイパーベルト天体、6つの軌道を科学者たちが調べているときに、おかしな現象に気づきます。

それは、6つの天体が、何か巨大な重力にはじかれるように、同じような傾いた楕円軌道を描いている事。



【画像参照：[AstroArts](#)】

これを発見した科学者たちは、何か未知の天体の影響で、軌道がこうようになったと結論づけ、そこには、太陽系第9番目の惑星が存在する証拠だと世界中に発表しています。

ただ、この第9惑星は、とんでもなく遠い場所に存在すると考えられていて、8番目の惑星である海王星軌道から20倍以上も遠い場所にあり、1万年～2万年の公転軌道をとっている惑星ではないかとされています。

参考記事：[【太陽系第9惑星を発見か？！】](#)

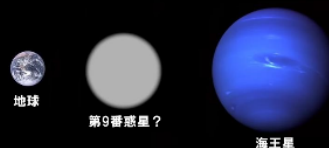
これだけ遠い場所に存在するかも知れない第9惑星もまた、カイパーベルト天体の1つではないか？と考えられ、エッジワース・カイパーベルトの領域は果てしなく広く、太陽系の最深处まで広がっているのでは？と考えられています。

▲ [このページの先頭へ](#)

9番目の未知の惑星とは？

今回、その存在が高いとされる9番目の惑星は、これまで9番目の惑星だった月より小さい冥王星とは違い、かなり大きな星と推測され、質量が地球の約10倍もあり、大きさも地球の半径の約3倍。

まだ発見には至っていないため、その星がどのようなタイプの星なのかは不明。地球と同じような岩石型惑星であれば「スーパーアース」的な星。星の主な構成が氷やガスであれば、海王星より少し小さい天王星型惑星ということになります。



9番目の惑星はどこにあるのか？

現在の観測技術は飛躍的に進歩し、既に太陽系外にも数々の惑星を発見出来ている時代です。にも関わらず、何故太陽系内に新たな星を発見出来ていないのか？

その大きな理由は、太陽系外縁部の惑星の観測となると、恒星のような明るい星の目印もなく、暗くてわかりづらいという事。それに加え、今回存在が期待される太陽系9番目の惑星は、地球からとてつもなく遠いということも発見されていない理由になります。

発表によると、その星の近日点（太陽に最も近づいた時）でも200～300天文単位（300億キロ～450億キロ）の距離で、公転軌道が超楕円軌道をとっているとされるその星は、遠日点（太陽から最も離れた地点）600～1,200天文単位（900～1,800億キロ）も離れていて、太陽を1周する公転周期は1万年～2万年もかかると推測されるとの事。